

吉田 稔 筆

平成20年1月 No. **84**

●編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域



謹賀新年



広げよう地域の輪

会長 山野辺 操

明けましておめでとうございます。

平成19年の協議会の活動は、住民の皆様をはじめ、役員や委員の協力により活発に行われました。

各部の行事に参加される住民の方々が増え、活況を呈しています。参加された人々の中からコミュニケーションが生まれ、広報紙『ふるさと』のタイトルにもあるように「みんな元気 住んで良かった この地域」が育っているように思われます。

昨年より今年、今年よりは来年と、地域の人達の輪を広げ、長生きして良かったと思える地域づくりを皆様と進めていきたいと思ひます。

皆様のいっそうのご指導とご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

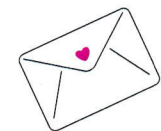


「文化祭出展作品」草月憲芳華道教室のみなさん

私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

白鷺町会



我が町は「白鷺」という増尾地域でもちょっと粋な町名になっています。その由来は40年ほど前になりますが、町会設立に際し、当時近くの田んぼには多くの白鷺が飛来していたところから、こう命名されたとの由です。当初20軒ほどの世帯だったようですが、人情あふれる方々がそろっていたのだと感じ入ります。現在は世帯も百を超えるまでに増えました。町内にはマンションや商店もなく、一戸建だけといってもいい、静かなたたずまいの住宅地です。

当町会も子供が少なくなっていますが、少しでも

地域への愛着をもってもらおうと行事も親子会とのイベントを重視しています。たとえば、消防署との自主防災訓練のときは、親と子の絆を深められればと子供を中心にした炊き出しを行っています。

住民は中・高齢者が多くなっています。このような時だからこそ、皆が気軽に集まれて、交流を深められ、次の世代にも受け継げるような媒体としての集会所があればと思ひ、遅々としてはいますが、設立に向けての準備をしています。 会長 真崎 博



多彩なイベント

中学生の贈り物にニッコリ 『敬老のつどい』に343名が参加

平成19年9月17日敬老の日、恒例の『敬老のつどい』が増尾近隣センター体育室で開催されました。

猛暑にもかかわらず、70歳以上の招待者のうち343名が参加されました。

今回はお祝いの記念品のほか、土中学校のボランティアの生徒たちが真心こめて育てた草花を、生徒一人ひとりから手渡され、おじいちゃん、おばあちゃんは孫世代からの思わぬ贈り物に笑顔いっぱいでした。

来賓の祝辞や柏市歯科医師会附属歯科介護センターの



ダイコン座が熱演の介護予防劇

「健康の源は口腔管理から」の講演に続き、ダイコン座が介護予防劇「おじいちゃんのスイカ」を熱演。

続く土中学校1～2年生のプラスバンド演奏では、

この日のために夏休みを返上しての猛特訓の成果「風林火山」など4曲に会場は聴き入るばかりでした。

最後は、地元では初めての演奏という柏南高等学校吹奏楽部66名の登場。県代表として毎年東関東大会に出場し、平成19年も銀賞に輝いた実力はさすが。その演奏は猛暑を吹っ飛ばす迫力で、しばしアンコールの声やみませんでした。

地区社協部 渡辺利夫

大井の福満寺を散策 健康教室 —— 文化体育部

数日前までの猛暑がうそのような好天の平成19年10月14日、参加者31名が3グループに分かれて増尾近隣センターを出発し、大井の福満寺へ向かいました。

片道4キロの道程を途中15分の休憩をはさみ、田園風景を楽しみながら、70分かけて到着。

山門をくぐると、竹林と古木に囲まれた福満寺は静寂の中に荘厳さを漂わせていました。ご住職は寺の由来や平将門にまつわる伝説、近隣の歴史などを聞かせてくださり、質問にも快く応じてくださいました。

お寺からお茶のお接待を受け、早めの昼食。食後は境内の准四国八十八箇所の札所巡礼、寺の近くで出土した土器や壺などが展示されている資料館の見学、貴重な文化財である筑波石を用いた下総式板碑（供養塔）の拝観と、自由行動で勉強した収穫を土産に、おのおの現地を後にしました。

参加者たちは、秋の一日を楽しく過ごせたと、大喜びでした。

文化体育部 高萩郁勇



竹林の参道を行く参加者たち

グランドゴルフ大会 (平成19年10月7日)

地区社協部

土小学校の校庭で69名が参加して開催。男女の優勝者・準優勝者・3位入賞者に賞状と賞品が授与されました。

順位		名前	打数	ホールインワン数	決定打数
優勝	男性	轟 定枝	62	2	56
	女性	大槻 光子	59	2	53
準優勝	男性	柴田 詮	56	0	56
	女性	高安美智子	64	3	55
3位	男性	小野 幸信	60	1	57
	女性	井藤ハマ子	65	1	62



無事に試合は終了。みなさんが日頃の練習の成果を十分に発揮されて、好成绩でした。

楽しむ参加者

文化祭 (平成19年11月3～4日)

文化体育部

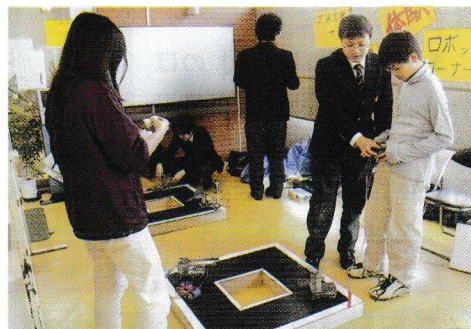
2日間で800名の方が来館され、盛会でした。今回は増尾デイサービスの方々の作品や芝浦工業大学柏中学高等学校の中学生によるロボットのコーナーなど、新しい展示も加わって、いっそう華やいだ文化祭になりました。



目を引いた増尾デイサービスの展示品



相変わらずのにぎわい手芸コーナー



ロボット体験コーナーは子供に人気

地域ふれあいのつどい (平成19年11月3日)

地区社協部

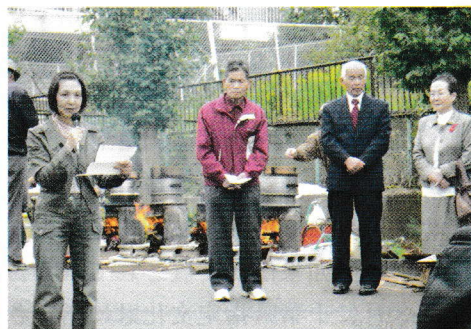
増尾近隣センター駐車場を会場に、文化体育部主催の文化祭と同時開催。つくたてのおもち、焼きそば、おでんは例年どおりの人気。新鮮、安全でおいしい地元産の野菜も大好評。新規参入の竹炭コーナーも売り切れでした。



おもちつきの準備で係員は大わらわ



「これで最後よ！」元気なお母さん



休日返上で近隣センター所長も参加

防災施設の体験研修 (平成19年11月16日) 防犯防災部

参加者26名が松戸市の千葉県西部防災センターへ。



スポーツ・レクリエーション大会 (平成19年11月23日) 文化体育部

幼児から70歳代の高齢者まで141名が参加し、増尾近隣センターの体育室で開催。午前は個人やペアで、午後はグループになってさまざまな技を競いました。子供たちの元気ももらって、大人も「また来たいね」と大満足。

環境施設見学会 (平成19年9月14日) 環境部

松野台自治会の後藤武彦さんの見学記を4面に掲載。

まちじまん

一家そろって芸術家

増尾町会 伊藤 進さん

幼少より絵が得意だったとのこと。松戸市役所に勤務の頃から水彩画とパステル画を描いておられます。柏の早川義孝氏の門を叩いてからは新槐樹社展に出品し、第36回では内閣総理大臣賞を受賞されました。



作品を背にしてのご夫妻

また、奥様は「書」のほか「踊り」も師匠。ご長男は木工デザイナーとしてご活躍の芸術ご一家です。

第46回全日本学校歯科保健優良校表彰

特別賞に輝く土小学校

平成19年10月18日、第46回全日本学校歯科保健優良校として、土小学校が特別賞を受賞しました。

この賞は学校歯科保健の推進にあたり、教育的な実践活動を行い顕著な成績をあげた学校に、日本学校歯科医師会から贈られるもので、千葉県では土小学校1校だけが受賞し、全国でも受賞校は20校のみです。

ふるさと増尾 訪ね歩き

— 萬福寺 —

増尾近隣センターから土小学校を右に見て、ニッカ通りに出る道の左に萬福寺があります。木造漆箔の阿彌陀如来像が安置されており、この像は平成元年3月に千葉県指定文化財に指定されました。本堂は幾多の災害にも遭い、明治19年に再建されて現在に至っています。また、このお寺は土小学校の前進“増尾小学校”の仮校舎にも使われ100年以上経っています。(増尾ダイヤモンドクラブ資料参考)



感動したり 納得したり 環境施設見学会に参加して

平成19年9月14日、ふるさと協議会環境部による環境施設見学会に23名の方とともに参加しました。

最初に訪れた「北千葉導水ビジターセンター」では、利根川からの取水を飲み水として利用できるようにしたり、手賀沼をきれいにするなどの自然環境の再生や、大雨による浸水から市民を守る取り組みなどを、ビデオ映像を交えてのわかりやすい女性ガイドの説明を感心して聞きました。



とくに、かつては全国でもワーストスリーに入るくらいに汚染のひどかった手賀沼が、今

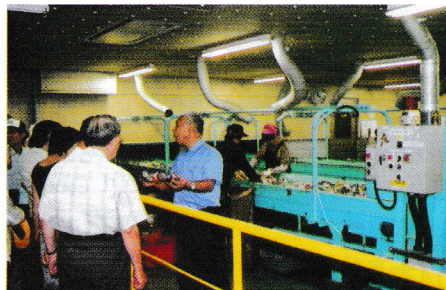
浸水から市民を守る取り組みに感心

ではトライアスロン大会が開催されるほどまでにきれいになってきたことには感動しました。

次に「柏市リサイクルセンター・柏プラネット」を見学しました。

私達の日常生活から出るたくさんの資源ゴミは“生まれ変わる資源”として、ここで再生原料となり、メーカーに運ばれてリサイクルされています。

ほとんどの作業は機械化されていますが、異物などの選別は人手による大変な作業です。効率よい処理作業には私達市民のゴミ出し分別ルールマナーがいかに大切かよく理解できました。



ゴミ出しルールの説明に納得

最後に訪れたのは可燃ゴミを処理している第二清掃工場「南部クリーンセンター」でした。ここでは最新の設備ですべて焼却され、灰はアスファルトなどに再利用されるとのこと。3D映像による炉内体験ツアーでは焼却の様子が見られ一見の価値あります。

松野台自治会 後藤武彦

お詫びと訂正

本紙83号の『増尾西小学校創立30周年』の記事で「光小学校」とあるのは「光ヶ丘小学校」の誤りでした。お詫びして訂正します。